



# シートベルト等の着用状況

## 令和7年中



### 1 シートベルト着用状況 (令和7年中)

区 分		運転席	助手席	後部座席	合計
死 者(a)	着 用	7	0	0	7
	非着用	8	0	0	8
	着用率	46.7	-	-	46.7
重 傷 者(b)	着 用	147	35	9	191
	非着用	2	0	10	12
	着用率	98.7	100.0	47.4	94.1
軽 傷 者(c)	着 用	2,310	368	229	2,907
	非着用	47	2	115	164
	着用率	98.0	99.5	66.6	94.7
計(d)	着 用	2,464	403	238	3,105
	非着用	57	2	125	184
	着用率	97.7	99.5	65.6	94.4
致死率(%) (a/d)	着 用	0.28	0.00	0.00	0.23
	非着用	14.04	0.00	0.00	4.35
致死率倍率(非着用対着用)		50.1	-	-	18.9

※チャイルドシートを含む

#### (1) 死傷者別の着用率

令和7年中の交通事故死傷者別のシートベルトの着用率は

死 者 46.7% (令和6年中 60.0%)

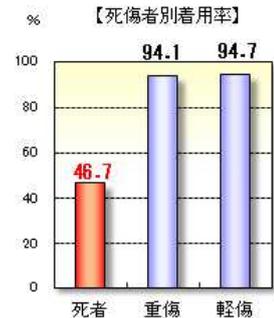
重 傷 者 94.1% ( " 94.4%)

軽 傷 者 94.7% ( " 94.7%)

死傷者全体の着用率 94.4% ( " 94.5%)

と、軽傷者や重傷者に比べて死者の着用率が低くなっています。

なお、非着用だった184人のうち83人は、シートベルトを着用していれば死傷の程度を軽減できたと考えられます。



#### (2) 交通事故死傷者の乗車席別の着用率

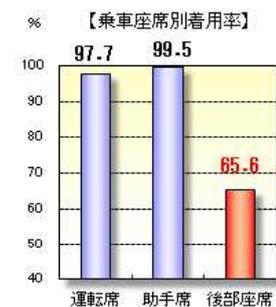
乗車席別シートベルトの着用率は

運 転 席 97.7% (令和6年中 98.3%)

助 手 席 99.5% ( " 98.6%)

後 部 座 席 65.6% ( " 61.8%)

と、後部座席の着用が低調で、助手席と比較して着用率が33.9ポイント低くなりました。



#### (3) シートベルト着用状況別の致死率

シートベルト着用者と非着用者の致死率について見ると、非着用者は着用者の18.9倍に達していますので、シートベルトの被害軽減効果は高く、シートベルトを正しく着用することが、死亡事故抑止のために極めて重要です。



#### (4) 年代別のシートベルト着用率

年代別シートベルトの着用率は、全体の着用率が94.4%ですが、

- 10歳未満 87.7% (81人中71人)
- 10歳代 80.4% (179人中144人)
- 30歳代 94.1% (629人中592人)
- 70歳代 93.5% (201人中189人)
- 80歳以上 82.4% (51人中42人)

と、10歳未満、10歳代、30歳代、70歳代及び80歳以上の着用率が全体の着用率よりも低くなっています。



#### 2 交通事故死傷者のチャイルドシートの着用状況 (令和7年中)

四輪車乗車中死傷者のチャイルドシートの着用率は、

- 助手席 100% (令和6年中 100%)
- 後部座席 83.3% (令和6年中 89.2%)
- 死傷者全体の着用率 86.4% (令和6年中 92.2%)

と、後部座席の着用率が低くなりました。

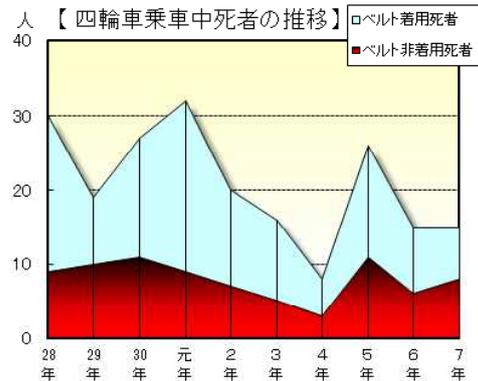
区分	区 分	助手席	後部座席	合計
		着用	0	0
死者	非着用	0	0	0
	着用率	-	-	-
	着用	0	1	1
重傷者	非着用	0	0	0
	着用率	-	100.0	100.0
	着用	8	29	37
軽傷者	非着用	0	6	6
	着用率	100.0	82.9	86.0
	着用	8	30	38
計	非着用	0	6	6
	着用率	100.0	83.3	86.4

#### 3 四輪車乗車中死者のシートベルト着用率の推移 (基礎データ平成28年～令和7年)

平成28年以降、四輪車乗車中死者のシートベルト着用率は6割前後で推移しています。

令和7年は、四輪車乗車中死者が前年と同数となりました。

なお、シートベルト着用率は、前年比-13.3ポイント減少し、過去10年で最も低い水準となりました。



【四輪車乗車中死者の推移】

区 分	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
ベルト着用死者	21	9	16	23	13	11	5	15	9	7
ベルト非着用死者	9	10	11	9	7	5	3	11	6	8
うち効果あり	8	10	6	8	6	4	2	6	5	6
四輪車乗車中死者	30	19	27	32	20	16	8	26	15	15
ベルト着用率(%)	70.0	47.4	59.3	71.9	65.0	68.8	62.5	57.7	60.0	46.7

#### 4 シートベルト着用調査 (令和6年10月～11月 警察庁・JAF合同調査)

区 分	高 速 道			一 般 道		
	運転席	助手席	後部座席	運転席	助手席	後部座席
宮 城 県	100.0%	100.0%	85.5%	99.5%	98.0%	38.7%
全 国	99.6%	98.8%	79.7%	99.2%	96.8%	45.5%
全国順位	第1位	第1位	第15位	第14位	第11位	第40位

令和6年調査の本県のシートベルト着用率は、運転席、助手席はおおむね上位にありますが、後部座席の順位が低く、特に一般道における後部座席着用率は、全国ワースト8位となりました。